

平成30年度 指定管理者管理運営状況評価結果について
(文化施設6件)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、平成30年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の実施状況、財務の状況、事業の実施状況、運営の実施状況、施設サービスの実施状況及び方針と目標の達成状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等の評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、生活文化局が一次評価を行い、外部委員を含む評価委員会の評価を経て、最終的な評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準(4段階)

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A ⁺	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
A	管理運営が良好であった施設
B	管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙1のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	東京都江戸東京博物館等 6施設	外部委員7名(文化政策関係者1名、美術館・博物館関係者2名、ホール関係者2名、公認会計士1名、施設サービス評価専門委員1名) 内部委員1名(東京都職員)

評価委員会委員の氏名については別紙2のとおり。

(3) 評価結果

	S	A ⁺	A	B	計
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	2施設	4施設	0施設	0施設	6施設

各施設の評価は別紙3のとおり。

【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部企画調整課
電話 03-5388-3158

評価の観点

項目	細項目	内容
管理状況	管理の実施状況	○施設設備その他の管理は適切に行われているか ・施設設備の管理について ・危機管理について・各種法令等の遵守、個人情報保護・ 情報公開の取組について など
	財務の状況	○適切な財務運営が行われているか ・施設の収支状況について ・外部資金等の活用について など
事業効果	事業の実施状況	○効果的な事業内容か ・資料の管理・活用について ・展覧会等の内容について ・教育普及事業について ・施設の貸出について ・芸術文化の振興に関する事業について など
	運営の実施状況	○適切な施設運営が行われているか ・休館日及び開館時間について ・地域連携について ・広報について など
	施設サービスの 実施状況	○適切な施設サービスが行われているか ・多様な利用者に配慮した施設設備について ・案内・表示について ・館内サービスについて など
方針と目標 の達成状況		○事業計画の基本方針に従い、目標を達成しているか

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
東京都江戸東京博物館外5 施設指定管理者評価委員会	太下 義之	独立研究者（文化政策） 独立行政法人国立美術館理事
	草加 叔也	有限会社空間創造研究所 代表
	箕口 一美	元サントリー・ホール プログラミング・ ディレクター 東京藝術大学大学院 講師
	新畑 泰秀	石橋財団アーティゾン美術館 学芸課長
	小島 道裕	国立歴史民俗博物館 教授 総合研究大学院大学 教授
	茶田 佳世子	公認会計士
	池田 伸之	株式会社 J T B 東京交流創造事業部長
	工藤 穰治	東京都生活文化局文化施設改革担当部長

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	「ホール等改修工事」が無事終了し、日常の管理も適切に行われている。
	財務の状況	○	収支も目標を上回り、特に問題がない。
事業効果	事業の実施状況	◎	展示や関連事業に意欲的に取り組んでいる。常設展・企画展ともに魅力ある主題を様々な観点から見せる内容となっている。 分館の「三井八郎右衛門邸」と「小出邸」について、都教育庁に調査研究資料を提供するなど協力し、「都指定有形文化財」に指定された。
	運営の実施状況	◎	適切な運営がなされている。特に、北京首都博物館において展覧会を開催するなど、海外事業への積極的な展開による館のステータス向上が図られた。
	施設サービスの実施状況	◎	本館では、常設展の解説端末や音声ガイドを13言語対応とするなど、多言語化を着実に進展させた。 分館では、「子宝湯」の触察模型を新たに作成したことに加え、車いす利用者や視覚障害者に向け園までの推奨アクセスルートをHPに掲載するなど、バリアフリー化を推進した。
方針と目標の達成状況		○	基本方針に沿った運営が適切に行なわれ目標を達成している。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	江戸・東京の多様な魅力を伝えるため、様々な企画による充実したコンテンツを用いた事業を展開している。 29年度に開催した北京首都博物館との交流展「江戸と北京展」の交換展として、北京首都博物館にて展覧会を行ったことは、国際交流を推進する観点から特に評価できる。
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	今後はさらなる発展のため、改修が終わった本館の特別展示室及び2つのホール等を大いに活用する必要がある。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	施設の維持管理など適切に対応している。
	財務の状況	○	支援会員制度による自主財源の確保が定着し、事業に有効に活用されている。
事業効果	事業の実施状況	◎	学芸員の調査研究とそれに基づく質の高い展示、教育普及事業などが行われている。 特に教育普及事業については、記録集を作成し、全国の美術館や学校に配布するなど、事業のまとめと周知に努めた。
	運営の実施状況	○	記者懇談会の設置などは他館ではあまりない工夫であり、効果を十分にあげている。 トリップアドバイザーへの情報掲載など、新たな取組を行った。
	施設サービスの実施状況	◎	ホールの聴覚サポートシステムを改善し、映像上映への対応を可能にしたことで、より多様な利用者の映像鑑賞機会を創出した。 展覧会公式Webサイト（日・英）の立ち上げ、声優を起用した展覧会音声ガイドの作成・運用など、来館者層拡大のための取組を行った。
方針と目標の達成状況		○	入場者数が目標値を下回っているが、質の高い展示等を行っていることは評価できる。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	独自財源を確保し、学芸員の力量に基づいた充実した展示等を行っていることは評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	入場者数が目標を下回ったこともあり、利用者層や来館者への向き合い方について、時間をかけて再検討する必要がある。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	◎	大規模改修工事のほか、専門知識を生かした補修工事を実施するなどし、リニューアルオープンを計画どおり行った。
	財務の状況	○	特に問題がない。
事業効果	事業の実施状況	◎	リニューアルオープン記念展は、日本の近現代美術の流れを俯瞰する好企画であった。子供向けの美術書を集めたコーナーを拡張した「こどもとしょしつ」を新設した。アウトリーチプログラムに力を入れ、特に病院に入院する子供たちへの訪問学級と連携した新たな取組を行った。
	運営の実施状況	○	リニューアルにあわせた広報活動が積極的に行われたことなどは評価できる。「MOTサテライト」では、作家と住民が直接交流する機会を設けたことで、会場である清澄白河地域へ一定の貢献を果たした。
	施設サービスの実施状況	◎	リニューアルに際し、館内外のサインを一新した。テナントや動線等についても大幅に改善した。特に動線については、中庭へ出入りできるエントランス扉を新設したことにより、作品等を見ながら建物の内外を巡ることができるようになった。
方針と目標の達成状況		○	基本方針に沿って、適切に休館中の活動が行われた。リニューアルに伴うテナントや回遊動線等の改善が図られている。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	リニューアルオープンとそれに伴うテナントやサイン類の改善などを適切に行ったことにより、一層魅力ある美術館となった。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	大規模改修工事を経て、ハード面での充実が図られたことを活かし、あらゆる人に開かれた美術館として、更なる事業の充実が必要である。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	多くの入場者を迎えながら安定的な管理ができています。
	財務の状況	◎	収支状況は良好である。
事業効果	事業の実施状況	◎	すべての特別展で目標数を上回り満足度も高かった。また、ユニークな企画展を開催し、館としての独自色を出すことに成功していることは高く評価できる。アートコミュニケーション事業が充実し、書籍化により注目度もさらに高まっている。
	運営の実施状況	○	適切な運営が行われている。近隣施設や動物園との連携事業は評価できる。
	施設サービスの実施状況	○	特別展の音声ガイドは4か国語対応、公募展カレンダーは3ヶ国語対応など、多言語化は着実に進展している。大使館レセプション等のユニークメニューにも積極的に取り組んでいる。
方針と目標の達成状況		◎	基本方針に基づいた多くの充実した事業を実施し、高い水準で達成している。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	多くの充実した事業を安定的に行い、利用者の満足度も高いことは評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	観覧者数のみにとらわれず、利用者の視点に立ったお客様対応を含め、特別展の事業運営についてさらなる工夫を検討する必要がある。 「おべんとう展」のような自主企画展のさらなる充実が期待される。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	都響との共催による「避難体験コンサート」を初めて実施するなど、更なる危機管理体制の強化に努めた。
	財務の状況	◎	文化庁の総合支援事業に採択された。そのほか、地域創造からの助成金等、外部資金を獲得した。
事業効果	事業の実施状況	◎	創造・発信、育成・支援、次世代への投資、社会包摂に関する事業に意欲的に取り組んでいる。稼働率、自主事業入場者数ともに目標値を上回った。
	運営の実施状況	◎	東京音楽コンクール特設ページの開設やSNS配信によるHPへの誘導など様々な工夫を行い、目標のHPアクセス数を達成した。実演家団体と連携して「上野の森バレエホリデイ」を実施するなど、上野地域の活性化に寄与した。
	施設サービスの実施状況	◎	館内のバリアフリー情報をまとめた「ユニバーサルガイド」を作成し、HPでも公開するなど、バリアフリーに配慮した取組を行った。
方針と目標の達成状況		◎	創造発信、人材育成、教育普及の3本の柱に意欲的に取り組み、初心者や児童が楽しめるような企画からヘビーユーザーが満足できる質の高い事業まで、幅広く音楽に触れる機会を創出した。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	国内でも屈指の「質の高い鑑賞機会の提供」を行っている。 東京音楽コンクールの一層の充実も高く評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	音楽資料室の価値の活かし方について更なる工夫が必要である。 友の会の見直しについては、制度変更などのあり方の検討を計画的に実施すること。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	平成30年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	◎	エスカレータ工事など、必要な修繕工事を館運営に支障なく円滑に実施した。
	財務の状況	○	文化庁の総合支援事業に採択されるなど、協賛金等外部資金を獲得した。
事業効果	事業の実施状況	◎	演劇、ダンス、音楽各ジャンルの次世代アーティストの育成プラットフォームとしての機能をよく果たしている。一連の海外展開は、国際的な実演芸術界に存在感を示す事業として高く評価する。
	運営の実施状況	◎	池袋西口の文化関連イベントに芸劇のスタッフが準備段階から参加する等、積極的に地元と連携し、定性目標に掲げられている「地域に根差した事業展開」を体現している。
	施設サービスの実施状況	◎	新たに接客渉外などを担当する運営担当課長のポストを新設し、高齢者・障害者等への対応に配慮した。
方針と目標の達成状況		○	数多くの大型事業を制作・実現し、いずれも高い評価を得ている。定性目標、定量目標ともに一定以上の成果が認められる。

〔評価基準〕各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	海外展開、地域連携、社会包摂と格段に増えた要求に対し、劇場全体で応えるため、大変な努力が注がれている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	安定的な施設運営、地域に開かれた劇場としての役割やその成果としてのにぎわいの創出などにさらに取り組む必要がある。 収支のバランスを踏まえた事業運営を行うよう配慮する必要がある。